

(様式2)
議事録番号

提出2007年3月26日

会合議事録

研究会名：タンパク質結晶品質評価研究会

日 時：3月24日(土)10:30~16:30

場 所：大阪大学蛋白質研究所

出席者：(議事録記載者に下線)

橘 勝

和泉 研二

塚本 勝男

小島 謙一

松浦 良樹

佐崎 元

中田 俊隆

本同 宏成

引間 孝明

吉崎 泉

計10名

議題：

10:30-10:40 SPring8 研究会代表 橘先生よりご挨拶

10:40-11:30 「X線トポグラフィー法によるタンパク質結晶中の転位の研究」(橘、小島)

11:30-12:40 「成長表面とX線トポグラフの対応」(塚本)

昼食

13:30-14:30 「SPring8におけるビームラインの紹介」(引間)

14:30-14:50 「インシュリンを用いた結晶成長研究」(和泉)

14:50-15:20 「脂肪酸薄膜上の炭酸カルシウム結晶化」(本同)

15:20-16:10 「タンパク質結晶成長に及ぼす流れの影響」(佐崎)

16:10-16:30 「FOTON-M3を用いた宇宙実験について」
(塚本・小島・橘・吉崎)

議事内容：

上記プログラムに従い、第1回タンパク質結晶品質評価研究会を開催した。本研究会は、旧「タンパク結晶品質評価システム開発」研究会(代表：松浦良樹)を引き継いだものであり、引き続きタンパク質品質評価に関わる研究技術開発を行っていきたい旨、橘代表から挨拶があった。

続いて、各メンバーの今年度の進捗状況を報告した。活発な議論を通して、タンパク質結晶の品質を定量的に評価すべきこと、評価標準をつくるために、結晶成長挙動と結晶の様々なレベルでの完全性をきちんと調べるべきであることが認識された。2007年夏に微小重力を用いた結晶成長実験を行うため、この結晶の評価をX線トポグラフィー、ロッキングカーブ計測、分解能などさまざまな手段で行うことを予定している。

次回は2007年の夏～秋頃を目処に開催を予定している。

以上